

一般会計予算の主な質疑

収支・財政

質 一般会計の中で、公債費の占める割合が増大している。財政見込み、財政推計、経常収支はどうなっているのか。

答 (政策推進課)

長期的なビジョンとして、松田小学校整備事業の公債費比率を踏まえ、2035年度15%、経常経費95・2%という推計であった。現在、財政推計は、総合計画の事業を見据え、新たな土地利用や町税外収入を見込み、再度推計をしている。歳出の抑制として、町民と痛みを分かち合うという観点から、補助金等の見直しや、今までの大きな事業は一時的に優先順位を定めて縮小も検討して

質 ハーブ館の赤字を西平畑公園駐車場の料金収入で補填するということがあったが、どういう取り決めになっているのか。

答 (観光経済課)

平成29年度指定管理者募集では、西平畑公園駐車場の収入全額をハーブ館の収入に入れると説明をしたが、平成30年度はハーブ館が町直営となったので、不足分を駐車場収入で補う形で行っている。また、次年度以降の指定管理者を募集する際には、駐車場収入全額をハーブ館収入に充て、町からの指定管理料を支出しない形で募集要項を作成する。

質 町税収入の減少傾向

について、今後の推移予測はどうなっているか。その対策として公有財産の使用料を増やすことが考えられるが、町民サービスの見直しになることを納得してもらえぬ努力が必要ではないか。

答 (税務課・政策推進課・教育課)

生産年齢人口減少により、毎年0・8%程度減収になる見込みである。町税外収入に取り組むことで収入全体を大幅に減少を抑える。公民館使用料の減免を見直す件はなかなか進まないが、団体個々の事情も考慮して次年度以降動き出す予定。

質 自主財源確保のためにも、財産運用収入や売却に取組むべきではないか。遊休町有地の有効利用で土地使用料を確保して、守っていききたい土地は守り、処分していい土地は売却を図るが、売却益は臨時的財源なので、経常経費に使うのではな

く目的を持った基金に積んでいくべきではないか。

答 (副町長・総務課)

自販機等の設置等の行政財産の目的外使用の収入を進めたい。町有地活用については、現在寄り番地は事業公募している。また、土地をお貸しして使用料収入を頂いている所も、売却の可能性もある。現在有効利用していない土地もある。それぞれ活用に取り組み、売却ということになれば、それに必要な事業費に充

てたり、目的を持った基金に積む。

質 社会福祉協議会に全額人件費の補助金を出しているが、全額出すことがいいのか。

答 (副町長)

稼いでいただくことを念頭に、いかに補助金を削減できるかという方策は、担当課を含めて早急に検討しなければいけないという問題は意識している。

あるが対策は。

答 (副町長・総務課)

人件費については、32年度より国の「働き方改革」に基づき、会計年度任用職員制度が始まる。それに伴い、物件費の賃金から人件費へ組変わることで、人件費の増加、賃金の減少が見込まれる。また、再任用職員の採用、時間外手当抑制のためフレックスタイムの利用促進等行政改革が必要である。

質 人件費は上昇傾向に

予算審査特別委員会報告書(抜粋)

審査の内容

歳入については一括、歳出については各款ごとに審査しました。

歳入は、自主財源の根幹である町税が減少傾向にあるので、新たな財源の確保に引き続き取り組む必要があります。

歳出は、新たに始まる松田町第6次総合計画に基づき予算編成をされ、魅力あるまちづくりに取り組んでいますが、厳しい予算編成となっています。

これらのことを踏まえ、次の事項について強く申し入れをして賛成することとしました。

- (1) 平成31年度大型事業については、詳細な財政推計を示してから執行されたい。
- (2) 遊休町有地を活用した人口増加策に努めるとともに、町有地売却収入は、基金等に積み増しをされたい。
- (3) 地方創生事業の委託料の中に改修費が含まれているので、投資的事業と区分して執行されたい。